

JA共済の社会貢献活動

JA共済は、共済事業と社会貢献活動を通じて、組合員・地域の皆さまが健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

「介助犬」の育成・普及支援

交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活をお手伝いする「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。いま介助犬を必要としている方は全国で約1万5千人とされていますが、正式認定犬はわずか39頭しかいません。(平成19年12月1日現在 厚生労働省調べ) JA共済では介助犬の受け入れに対する理解を促進するための活動を通じ、障がいのある方の自立と社会参加を支援しています。



交通安全教室

幼児向けには楽しい歌と踊りで交通ルールを学べる交通安全教室(親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」)、高齢者向けには楽しみながら交通安全への意識を高めていただく交通安全教室(「交通安全落語」や「敏捷性測定」「交通安全体操」など)を全国各地で開催しています。



桂 小米さん

「笑い与健康」教室

近年「笑うこと」が健康に良いと医学的にも証明されつつあり、医療現場でも「笑い」が導入され、その効果が明らかになってきました。JA共済では、組合員・地域の皆さまが未永く健康で暮らせるように、「笑い」と「健康増進」の関係に着目したプログラムを開発し、これを取り入れた「笑い与健康」教室を実施しています。



JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール

心の豊かさや地域社会との絆づくりを大切にするとともに、JA共済の理念である助け合いの精神を次世代に伝えるために実施しています。



JA共済全国小・中学生書道コンクール

全国最大級の規模で毎年実施している書道コンクールです。第51回(平成19年度)は、133万点を超える応募がありました。



農林水産大臣賞 小3 井上 朝也君さん

JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール

コンクールを通じて交通安全を広く社会に呼びかけています。第36回(平成19年度)は、16万点を超える応募がありました。



内閣府特命担当大臣賞 中2 佐久間 育子さん

健康・介護ほっとライン 電話相談サービス

フリーダイヤル 0120-481-536

利用時間:月~金曜日(祝日を除く)午前9時~午後8時
○携帯電話やPHSからご利用になれます。
○お名前は伺いませので安心してご利用いただけます。



料金	相談料、通話料ともに無料
健康・介護相談員	看護師、介護支援専門員(ケアマネジャー)
専門相談員	医師(精神科・心療内科を除く)

レインボー体操

JA共済のレインボー体操は、いつでも、どこでも、だれにでも簡単にできる体操です。肩こり・腰痛・生活習慣病の予防・解消に効果があります。



リハビリテーション

静岡県中伊豆と大分県別府にあるJA共済の2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。設立以来、30年以上にわたって交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。

JA共済の交通安全ホームページ <http://www.ko-tsu-anzen.jp>

あなたを見守る JA共済のバックアップ体制

暮らしの保障のことなら何でも相談できる「ライフアドバイザー」をはじめ、まさかのときに頼れる「自動車事故損害調査スタッフ」などの専門スタッフが誠意をもってお答えしています。

ライフアドバイザー 全国 **21,786**人
自動車事故損害調査スタッフ 全国約 **5,900**人
自動車事故相談窓口 全国約 **1,160**か所
(平成20年3月末)

24時間 365日 フリーダイヤル安心サービス

自動車事故の受付やアドバイスを行なうほか、故障時の緊急修理やレッカー搬送などの手配を行ないます。

フリーダイヤル **0120-258-931**

○全国どこからでも無料。○携帯電話やPHSからご利用いただけます。
JAの営業時間内は、ご契約先のJAへご連絡ください。
なお、救急119・警察110へのご連絡もお忘れなく。
※フリーダイヤル安心サービスは、自動車共済にご加入の方を対象として提供しています。

JA共済ホームページ <http://www.ja-kyosai.or.jp>

※詳細な内容は、ディスクロージャー誌「JA共済連の現状2008」をご覧ください。

平成 年 月 日

お問い合わせは、JA(農協)までご連絡ください。

JA共済 安心めっせーじ

平成19年度「事業概要」のご報告(平成20年6月)

JA共済の平成19年度「事業概要」がまとまりましたので、ご報告いたします。これからも「安心の保障力」で、皆さまにご満足いただけるJA共済であり続けたいと思います。

暮らしに確かなささえ
安心・安全
JA共済



平成19年度（平成20年3月末）のJA共済の『事業概要』等について、ご報告いたします。
JA共済は、これからも相互扶助（助け合い）の理念にもとづき、皆さまに「安心」と「満足」を提供していきます。

暮らしに確かなささえ
**安心・安全
JA共済**

ひと・いえ・くるま、大きく広がった保障の輪

JA共済は生活総合保障を提供しています。

生命総合共済（保有）

加入件数 **1,410**万件

保障金額 **185兆2,738**億円

建物更生共済（保有）

加入件数 **1,240**万件

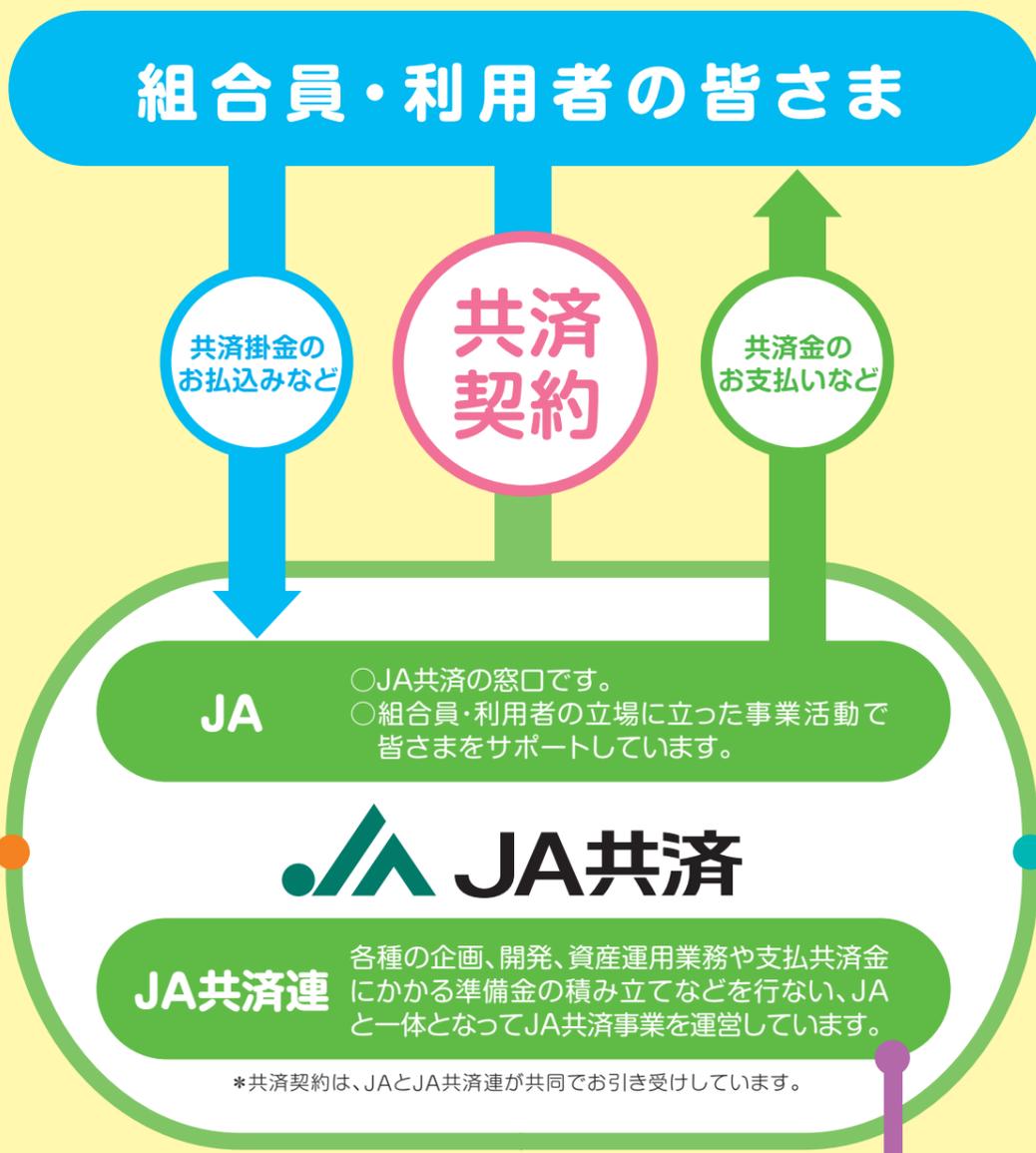
保障金額 **155兆6,655**億円

自動車共済（保有）

加入件数 **849**万件

自賠償共済（保有）

加入台数 **721**万台



お役に立った共済金

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いし、皆さまにお役立ていただいています。

平成19年度のお支払い 合計 **3兆8,842**億円

●生命総合共済	●建物更生共済
万-のお支払い 5,822 億円	万-のお支払い 1,133 億円
満期等のお支払い 1兆8,580 億円	満期等のお支払い 1兆305 億円
●自動車共済 1,868 億円	●その他共済計 1,131 億円

自然災害にも確かな保障

巨大災害などに備えるため、責任準備金として、毎年、異常危険準備金の積み増しを行なうとともに、海外への再保険も行なっています。

平成19年度の主なお支払い

- 平成19年3月 能登半島地震（石川・富山ほか）
15,309件 / **134億4千万円**
- 平成19年7月 新潟県中越沖地震（新潟・長野ほか）
30,684件 / **307億7千万円**

平成3年9月 台風19号（全国）
438,405件 / **1,488億2千万円**

平成16年9月 台風18号（山口・熊本・福岡ほか）
284,347件 / **1,080億4千万円**

平成16年10月 新潟県中越沖地震（新潟・群馬・福島ほか）
87,601件 / **773億3千万円**

平成16年10月 台風23号（兵庫・岡山・京都ほか）
78,442件 / **404億2千万円**

平成18年9月 台風13号（福岡・長崎・佐賀ほか）
74,683件 / **262億8千万円**

平成17年9月 台風14号と前線による大雨（宮崎・鹿児島・大分ほか）
39,951件 / **293億2千万円**

平成11年9月 台風18号（熊本・山口・鹿児島ほか）
179,977件 / **636億9千万円**

平成7年1月 阪神・淡路大震災（兵庫・大阪・京都ほか）
101,533件 / **1,188億8千万円**

平成10年9月 台風7号（奈良・三重・和歌山ほか）
84,754件 / **270億5千万円**

健全な資産運用

総資産のうち、42兆円余りの運用資産について、安定的な収益を確保できる国債などの公社債を中心に、安全・確実な運用を行なっています。

総資産 **43兆5,174**億円

運用資産 **42兆1,256**億円

- 有価証券 90.5%
- 貸付金 6.7%
- 現・預金およびコールローン 1.5%
- 運用不動産 0.5%
- 株式 3.5%
- 外国証券 5.8%
- その他 0.7%

十分な支払余力

通常の予測を超えて発生する諸リスクに対応するための支払余力は、十分な水準となっています。

支払余力（ソルベンシー・マージン）比率 **879.1%**

■支払余力（ソルベンシー・マージン）比率計算式

$$\text{支払余力（ソルベンシー・マージン）比率}^* = \frac{\text{支払余力（ソルベンシー・マージン）総額}}{\text{リスクの合計額} \times \frac{1}{2}} \times 100$$

*JA共済では、生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較はできません。なお、この比率が200%を下回った場合には、行政庁によって経営の健全性の回復を図るための措置がとられます。



JA共済が安心をお届けします。